

令和 6 年度 学校関係者評価委員会による評価結果報告

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

1 教育理念・目的・人材育成等		自己点検・評価	学校自己 評価	学校関係者 による評価
1	理念・目的・人材育成等は定められているか	教育理念や目的、人材育成等は学則の第1条に明記している。 また、専門職として社会で通用するよう、時代に即した人材育成を目指している。	4	
2	学校の特色は何か	学生ひとりひとりを大切にする指導を軸として、各科ともに本校でしか学ぶことのできないカリキュラムで、 即戦力の人材を育成することを目指している。	4	
3	学校の将来構想を抱いているか	多様化する業界に対応するために積極的に企業等と連携し、教育活動の推進や改善を実施しつつ時代に対応し た学校づくりに取り組んでいる。また、同時に地域社会に求められる学校であることを目指している。	4	
学校自己点検評価結果に対する、学校関係者評価委員会の判定 ○ 適切 不適切				
2 学校運営		自己点検・評価	学校自己 評価	学校関係者 による評価
4	運営方針・事業計画は定められているか	各年度で、教育理念や目的、人材育成に沿った学校運営方針が、事業計画に策定されている。	4	
5	運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか	就業規定、学則・細則等に基づき意思決定を行っており、 運営組織や意思決定機能は概ね効率的なものになっている。	4	
6	人事、給与に関する規定等は整備されているか	就業規定に基づき、人事、給与に関する規定等は概ね整備されている。	4	
7	意思決定システムは確立されているか	学則の教職員組織及び運営規定に基づき行っており、 各種会議を通して、意見交換の上、職員の同意のもと決議している。	4	
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	学校運営業務に必要なデータ整備を行い、情報データについて問題なく共有活用できている。 さらに、学内インフラ等についても整備を実施し各教室にWi-Fi環境が完備されている。	4	
学校自己点検評価結果に対する、学校関係者評価委員会の判定 ○ 適切 不適切				

3 教育活動【美容科】		自己点検・評価	学校自己 評価	学校関係者 による評価
9	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	教育理念や目的、人材育成像に沿った教育課程を策定している。 また、年度ごとに教育課程の編成、授業計画、評価方法について検討を重ねている。	4	
10	業界や社会のニーズを踏まえ、教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	外部の業界関係者等の意見を参考に、時代に対応したカリキュラム編成を常に見直ししている。 また、教育到達レベルや学習時間については、シラバスに明示している。	3	
11	カリキュラムは体系的に編成されているか	各科の目的、育成人材像に沿って、段階的に修得できるよう体系的に編成されている。 美容科においては、養成施設指導要領に基づき適正なカリキュラムを策定している。	4	
12	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けになっている。 美容科においては、養成施設指導要領に基づき適正なカリキュラムを策定している。	4	
13	授業評価の実施・評価体制はあるか	授業評価を実施しており、全教員で情報共有し、次年度の授業改善に努めている。	4	
14	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	人材育成目標の達成に向け、要件を備えた教員が授業を行なっている。 なお、美容科においては、教員は美容科教員資格を有している。今後についても、各科ともに時代に即した教員による授業を常に行っていくよう目指していく。	3	
15	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	学則及び細則により明確になっている。 また、シラバスにおいて各科目の成績評価を定めている。	4	
16	資格取得の指導体制はあるか	各種試験の情報を正確に学生へ提示しており、試験によっては放課後特別講座などを実施し指導体制を整えている。	4	

学校自己点検評価結果に対する、学校関係者評価委員会の判定

○ 適切

不適切

3 教育活動【デザイン科】		自己点検・評価	学校自己 評価	学校関係者 による評価
9	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	教育理念や目的、人材育成像に沿った教育課程を策定している。 また、年度ごとに教育課程の編成、授業計画、評価方法について検討を重ねている。	4	
10	業界や社会のニーズを踏まえ、教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	外部の業界関係者等の意見を参考に、時代に対応したカリキュラム編成を常に見直ししている。また、教育到達レベルや学習時間については、シラバスに明示している。	4	
11	カリキュラムは体系的に編成されているか	各科の目的、育成人材像に沿って、段階的に修得できるよう体系的に編成されているがより効果的な学びを求めて工夫が必要である。	4	
12	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けになっている。 各学年で学びを深めていけるよう、さらなる研究が必要である。	4	
13	授業評価の実施・評価体制はあるか	授業評価を実施しており、全教員で情報共有し、次年度の授業改善に努めている。	3	
14	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	人材育成目標の達成に向け、要件を備えた教員が授業を行なっている。今後についても、各科ともに時代に即した教員による授業を常に行っていけるよう目指していく。	4	
15	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	学則及び細則により明確になっている。 また、シラバスにおいて各科目の成績評価を定めている。	4	
16	資格取得の指導体制はあるか	各種試験の情報を正確に学生へ提示しており、試験によっては検定対策講座などを実施し、担当教員が合格目標を設定し指導を行なっている。	3	

学校自己点検評価結果に対する、学校関係者評価委員会の判定

○ 適切

不適切

3 教育活動【グローバルビジネス科】		自己点検・評価	学校自己 評価	学校関係者 による評価
9	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	教育理念や目的、人材育成像に沿った教育課程を策定している。 また、年度ごとに教育課程の編成、授業計画、評価方法について検討を重ねている。	4	
10	業界や社会のニーズを踏まえ、教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	外部の業界関係者等の意見を参考に、時代に対応したカリキュラム編成を常に検討している。 また、教育到達レベルや学習時間については、シラバスに明示している。	4	
11	カリキュラムは体系的に編成されているか	各科の目的、育成人材像に沿って、段階的に修得できるよう体系的に編成されている。 次年度カリキュラム再編を実施し整備を行う	4	
12	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けになっている。	4	
13	授業評価の実施・評価体制はあるか	授業評価を実施しており、全教員で情報共有し、次年度の授業改善に努めている。	3	
14	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	人材育成目標の達成に向け、要件を備えた教員が授業を行なっている。	3	
15	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	学則及び細則により明確になっている。 また、シラバスにおいて各科目の成績評価を定めている。	4	
16	資格取得の指導体制はあるか	各種試験の情報を正確に学生へ提示しており、試験によっては放課後特別講座などを実施し指導体制を整えている。	4	

学校自己点検評価結果に対する、学校関係者評価委員会の判定

○ 適 切

不適切

4 教育成果【美容科】			自己点検・評価	学校自己 評価	学校関係者 による評価
17	就職率の向上が図られているか	就職希望者の就職率は100%である。常に学生ひとりひとりのニーズにマッチした就職先を見定め、離職率の低減にも取り組んでいる。		4	
18	資格取得率の向上が図られているか	放課後特別講座の実施を通して、担当教員が合格目標を設定し指導を行なっている。令和3年度に実施の民間資格試験、美容師国家試験ともに全ての試験で90%以上の合格率である。 今後も工夫を重ね資格取得率の向上に努める。		4	
19	退学率の低減が図られているか	担任を中心に教員と保護者が連携して退学率の低減に努めている。対策については、学生の小さな変化を見逃さないように教職員一丸となって早期に対応することとしている。		4	
20	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握している。卒業生の動向については、就職先訪問や担任の情報網などにより把握に努めており、卒業生が学校を訪問する機会も多くある。		4	
学校自己点検評価結果に対する、学校関係者評価委員会の判定 ○ 適 切 不適切					
4 教育成果【デザイン科】			自己点検・評価	学校自己 評価	学校関係者 による評価
17	就職率の向上が図られているか	常に学生ひとりひとりのニーズにマッチした就職先を見定め、離職率の低減にも取り組んでいる。		4	
18	資格取得率の向上が図られているか	検定対策講座の実施を通して、担当教員が合格目標を設定し指導を行なっている。 今後も工夫を重ね資格取得率の向上に努める。		4	
19	退学率の低減が図られているか	担任を中心に教員と保護者が連携して退学率の低減に努めている。対策については、学生の小さな変化を見逃さないように教職員一丸となって早期に対応することとしている。		3	
20	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握している。卒業生の動向については、就職先訪問や担任の情報網などにより把握に努めており、卒業生が学校を訪問する機会も多くある。		4	
学校自己点検評価結果に対する、学校関係者評価委員会の判定 ○ 適 切 不適切					

4 教育成果【グローバルビジネス科】			自己点検・評価	学校自己 評価	学校関係者 による評価
17	就職率の向上が図られているか	就職希望者の就職率は100%である。常に学生ひとりひとりのニーズにマッチした就職先を見定め、離職率の低減にも取り組んでいる。		4	
18	資格取得率の向上が図られているか	放課後特別講座の実施を通して、担当教員が合格目標を設定し指導を行なっている。 今後も工夫を重ね資格取得率の向上に努める。		4	
19	退学率の低減が図られているか	担任を中心に教員と保護者が連携して退学率の低減に努めている。対策については、学生の小さな変化を見逃さないように教職員一丸となって早期に対応することとしている。		4	
20	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握している。卒業生の動向については、就職先訪問や担任の情報網などにより把握に努めており、卒業生が学校を訪問する機会も多くある。		4	

学校自己点検評価結果に対する、学校関係者評価委員会の判定

○ 適 切

不適切

5 学生支援【美容科】			自己点検・評価	学校自己 評価	学校関係者 による評価
21	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	早期の就職希望調査や面談、就職ガイダンス、卒業生講話などを計画的に実施しており、就職に対する動機づけやキャリア形成への理解にも力を入れている。また、就職学年時には、就職担当が随時面談を実施し、学生の希望状況の把握や意識向上に努めている。		4	
22	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	各科各学年ともに担任制であり、学生動向をこまめに把握し、学生からの相談に応じている。また、学科ごとに個人面談や三者面談を設定し相談体制を整えている。 学生が希望する場合は随時、相談できる体制もある。		4	
23	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	各奨学金の相談に加え、経済的不安のある家庭に対しては状況により学費の分納・延納を認めるなどして、負担の軽減を図っている。また、修学支援新制度の認定校でもあり、より充実した体制を整備している。		4	
24	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	学則の健康管理規定に従い、毎年、健康診断や胸部検診などを実施している。 また、日々の健康管理については、担任が中心となり行っている。		4	
25	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	課外活動については、学校生活に影響のない範囲で実施している。		4	
26	学生の生活環境への支援は行われているか	入学前に、通学困難な学生に対しては、不動産業者の紹介を行っている。 また、担任を中心に学校生活のみならず個々に寄り添った支援を行っている。		4	
27	保護者と適切に連携しているか	保護者との連携についても重要視している。三者面談の実施や欠席が続く際には、電話連絡等によりコミュニケーションをとっている。		4	
28	卒業生への支援体制はあるか	卒業生に対する再就職先の紹介を行っている。また、求めに応じてキャリア相談も行っている。美容科においては、各セミナーの情報や美容道具などの提供についても行っている。		4	

学校自己点検評価結果に対する、学校関係者評価委員会の判定

○ 適 切

不適切

5 学生支援【デザイン科】		自己点検・評価	学校自己 評価	学校関係者 による評価
21	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	早期の就職希望調査や面談、就職ガイダンス、卒業生講話などを計画的に実施しており、就職に対する動機づけやキャリア形成への理解にも力を入れている。また、就職学年時には、就職担当が随時面談を実施し、学生の希望状況の把握や意識向上に努めている。	4	
22	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	各科各学年ともに担任制であり、学生動向をこまめに把握し、学生からの相談に応じている。また、学科ごとに個人面談や三者面談を設定し相談体制を整えている。 学生が希望する場合は随時、相談できる体制もある。	4	
23	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	各奨学金の相談に加え、経済的不安のある家庭に対しては状況により学費の分納・延納を認めるなどして、負担の軽減を図っている。また、修学支援新制度の認定校でもあり、より充実した体制を整備している。	4	
24	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	学則の健康管理規定に従い、毎年、健康診断や胸部検診などを実施している。 また、日々の健康管理については、担任が中心となり行っている。	4	
25	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	課外活動については、学校生活に影響のない範囲で実施している。 デザイン科では、学生の視野を広げるために作品展覧会等に参加している。	4	
26	学生の生活環境への支援は行われているか	入学前に、通学困難な学生に対しては、不動産業者の紹介を行っている。 また、担任を中心に学校生活のみならず個々に寄り添った支援を行っている。	4	
27	保護者と適切に連携しているか	保護者との連携についても重要視している。三者面談の実施や欠席が続く際には、電話連絡等によりコミュニケーションをとっている。	4	
28	卒業生への支援体制はあるか	卒業生に対する再就職先の紹介を行っている。また、求めに応じてキャリア相談も行っている。	4	

学校自己点検評価結果に対する、学校関係者評価委員会の判定

○ 適 切

不適切

5 学生支援【グローバルビジネス科】		自己点検・評価	学校自己 評価	学校関係者 による評価
21	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	早期の就職希望調査や面談、就職ガイダンス、卒業生講話などを計画的に実施しており、就職に対する動機づけやキャリア形成への理解にも力を入れている。また、就職学年時には、就職担当が随時面談を実施し、学生の希望状況の把握や意識向上に努めている。	4	
22	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	各科各学年ともに担任制であり、学生動向をこまめに把握し、学生からの相談に応じている。また、学科ごとに個人面談や三者面談を設定し相談体制を整えている。 学生が希望する場合は随時、相談できる体制もある。	4	
23	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	各奨学金の相談に加え、経済的不安のある家庭に対しては状況により学費の分納・延納を認めるなどして、負担の軽減を図っている。また、修学支援新制度の認定校でもあり、より充実した体制を整備している。	4	
24	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	学則の健康管理規定に従い、毎年、健康診断や胸部検診などを実施している。 また、日々の健康管理については、担任が中心となり行っている。	4	
25	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	課外活動については、学校生活に影響のない範囲で実施している。	3	
26	学生の生活環境への支援は行われているか	入学前に、通学困難な学生に対しては、不動産業者の紹介を行っている。 また、担任を中心に学校生活のみならず個々に寄り添った支援を行っている。	4	
27	保護者と適切に連携しているか	保護者との連携についても重要視している。三者面談の実施や欠席が続く際には、電話連絡等によりコミュニケーションをとっている。	4	
28	卒業生への支援体制はあるか	卒業生に対する再就職先の紹介を行っている。また、求めに応じてキャリア相談も行っている。	3	

学校自己点検評価結果に対する、学校関係者評価委員会の判定

○ 適切

不適切

6 教育環境		自己点検・評価	学校自己 評価	学校関係者 による評価
29	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	教育機器や実習設備などについては、教育上の必要性に応じて整備を行っている。 今後も教育現場や関係企業等の意見や要望を参考にしながら、各年度事業計画策定に合わせて必要となる機器導入の検討を行っていく。	3	
30	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	企業等と連携して積極的に学外実習を実施している。インターンシップについては、美容科では美容事業所で10日間、デザイン科ではデザイン関連企業で約1ヶ月間の実習を実施している。 また、実習の際は教員が巡回指導し学生フォローも行っている。 研修等については、コロナウイルスの影響で実施をしていない。	4	
31	防災に対する体制は整備されているか	危機管理マニュアルや消防計画に基づき、防災訓練や防火体制の整備を毎年実施している。 また、防火管理者、施設管理責任者を適切に配置している。	4	
学校自己点検評価結果に対する、学校関係者評価委員会の判定 ○ 適 切 不適切				
7 学生の募集と受け入れ		自己点検・評価	学校自己 評価	学校関係者 による評価
32	学生募集活動は、適切に行われているか	学生募集活動において、募集開始時期、就職率や国家試験合格者の表示など、協定等に則した募集を行なっている。また、定期的に高校訪問を実施して、高校とも連携した進路選択や募集活動を実施している。	4	
33	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	ホームページ、SNSの活用、高校訪問、進学ガイダンス、オープンキャンパス等を通じて正確に伝えるよう努めている。また高校進路指担当者等に対する学校説明会を毎年実施している。	4	
34	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	入学選考については、学生募集要項及び入学試験実施要項に基づき、適正かつ公平に実施している。	4	
35	学生納付金は妥当なものとなっているか	学生納付金は、教育内容や教育施設の充実度から妥当なものとなっている。 また、県内の競合校とほぼ同程度である。	4	
学校自己点検評価結果に対する、学校関係者評価委員会の判定 ○ 適 切 不適切				

8 財務		自己点検・評価	学校自己 評価	学校関係者 による評価
36	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	中期計画と単年計画を詳細に策定しており計画にずれが生じないようにしている。 なお、定員充足率にまだ余裕があるので安定した学校経営を目指して学校の充実を図っている。	4	
37	予算・収支計画は妥当なものとなっているか	年度ごとに事業計画書と共に収支予算書を作成し、適切な執行に努めている。	4	
38	財務について会計監査が適正に行われているか	母体が学校教育法の一条校（幼稚園）を併設する学校法人であるため、学校運営及び財務処理など全般にわたり、公認会計士による法定監査及び定期監査を受けている。	4	
39	財務情報公開の体制整備はできているか	学校法人として社会的責任を果たすため適正運営に努めるとともに、適正な情報公開に取り組んでいる。また、ホームページでも公開している。	4	
学校自己点検評価結果に対する、学校関係者評価委員会の判定			○ 適 切	不適切
9 法令等の遵守		自己点検・評価	学校自己 評価	学校関係者 による評価
40	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	法令、専修学校設置基準に基づき、適正な運営を行っている。 美容科においては、美容師養成施設指定規則による運営を行っている。	4	
41	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	教職員全体でその重要性を共通理解し、個人情報に関する書類等は鍵付きの棚へ保管している。	4	
42	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	文部科学省ガイドラインで示された評価項目に沿って自己評価を毎年度実施し、より特色があり開かれた学校づくりへの改善に努めている。	4	
43	自己評価結果を公開しているか	自己評価結果は、ホームページに公開している。	4	
学校自己点検評価結果に対する、学校関係者評価委員会の判定			○ 適 切	不適切
10 社会貢献		自己点検・評価	学校自己 評価	学校関係者 による評価
44	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	コロナ禍で当年度の実績はないが、地域社会との連携を目指している。学校施設を活用した地域開放講座の実施や不要となったマネキンの寄付といった活動を通常は行っている。	3	
45	学生のボランティア活動を奨励しているか	活動を奨励している。 コロナ禍以前は、美容科学生が高齢者福祉施設でのボランティア活動を実施していた。	3	
学校自己点検評価結果に対する、学校関係者評価委員会の判定			○ 適 切	不適切